

【ねがいましては】

平成31年3月20日

KYOWA SCHOOL

第341号

「急ぐ」

以前にも取り上げたことがあるのですが、倉本 聡さんのエッセイ集「疚しき沈黙」より、石油についての著述です。

地球の誕生から46億年、石油が地中に蓄積されはじめたのが約2億年前、(生物の死骸などが石油化)すでに地球内の石油埋蔵量の約半分が消費されたそうです。このままでいくと2040年頃にはすべての石油が消費されるのだそうです。石油を大量に使い始めたイギリス産業革命(18世紀後半)から150年余、2億年かかって地中奥深くで作られた石油が……。

そこで倉本さんの塾が北海道にあるそうですが、そこに来る塾生たちに46億年を460メートルの道をつくり実際に歩いてもらうのだそうです。その後の記述が少々理解しづらいので、46億年を46キロメートルに変えてみました。ここ(行徳)から約46キロメートル先は、直線で鎌倉あたりになります。鎌倉までを46億年前とします。電車で行けば約2時間前後で到着、中世の歴史が色濃く残る街です。

で、石油がつくられ始めた2億年前が約2キロメートル、ここからですと東西線で約2駅、行徳～浦安間くらいになります。現在2019年、西暦元年から今までが約2センチメートルになります。そして産業革命が起こってから……なんと2ミリメートルです。2キロメートルかけて少しずつ蓄積してきたものを、何と2ミリメートルで消費してしまうことになるのです。

この事実からすると、地球というひとつの生命体の中で、最も罪な生物は「人類」になります。底知れぬ長い時間を費やしながらかきあげてきたものを人類が破壊していく……。挙げ句の果て、「核」という地球生命体に大打撃を与える物質を兵器として保有し、にらみ合っている有様です。そういう私も石油資源を大量消費する社会の中で生活しているわけです。ライフラインは石油なくしては成り立たないものです。石油なくしては生きる事のできない体……。

必要不可欠な物となってしまった「石油」……。朝起きる、明かり、食事、交通、衣服、学校、勉強、などなど、すべてに石油は形を変え私たちの生活に浸透しています。

その中で争うように生活している私たちがいます。

「のんびり」という語彙が死語になったかのような生活、すべて豊かさを求めるが故の行為なのでしょうが、我が子だけには苦勞をさせたくない、だからアリさんのように今からこつこつ頑張って財を成していく……。その場限りの生活では、やがて冬が来たらキリギリスのように凍えてしまうよ……。

だから脇目も振らず黙々と歩く走る……。しかし気がついたら時は過ぎ、家族団らんを味わうはずだった時間はすでに過去のものに……。

せつかくいただいた命なのだから、その時その時を「しあわせ」を感じながら歩んでみようよ。そこで邪魔になるのが「欲」なのかもしれません。今日一日、家族が健康で過ごせた幸せを味わう……。小さなことであっても、幸せは自分が決めればいい……。相田みつをさんの言葉ですね。

そんな時の過ごし方を「教育」が受け持たなければならぬのではないのでしょうか。幼少のころから、どのような時間の過ごし方が「しあわせ」なのか考える授業。どのような時間の過ごし方が「生きる喜び」を味わえる過ごし方なのか。

つまり「ひと」としての生きる本質を実感できる授業づくりをしていかなければならないと思うのです。

世の中は、経済至上主義、経済発展につながる人材づくり優先のため、あらゆるところに競争原理を働かせています。その代表が「成績」です。競わせることで、その中から生まれた勝者にさらに磨きをかけ成長を促し、経済発展に欠かせない有能な人材を造り上げていく……。そのルールの中にしっかりと義務教育は組み込まれてしまいました。

受験もそのひとつです。何倍かの確率から、残ったものは勝者、落とされたものは敗者。勝者は敗者の心の内を察するということをしているのでしょうか。同じ人類でありながら「ざまーみろ」と言わんばかりの勝ち誇った表情を浮かべる子どもたち……。そのたびごとに何かを捨てているような気がいたします。

私はテストは「毒に近いもの」だと思っています。1年生、テストを重ねていくうちにやらかしてしまう「悪い点数」……。これが「毒」です。これで「勉強はテストのためにある」という固定観念が宿ります。もちろん100点を重ねている子どもご家庭で100点を誉められると、やはり同じ現象になります。勉強はテストのためにある。で、試しにテストを廃止してみましょう。子どもたちは勉強をしなくなります。毒を飲まされたくないから勉強する。

テストがあるから勉強する。テストがなければ勉強しない。

本来の「学び」、これはどこへ行ってしまったのでしょうか。「へー、あっ、そうなんだ、それで……。」次から次へわき上がってくる学びたい衝動をつくってあげるのが本来の学び……。そんな理想を今後も掲げ続けたいと思います。

そして、石油が枯渇した後も、人々が安心して幸せな生活ができるような社会めざして学んでいきましょう。

その一步一步を大切にしましょう。